持続可能な開発目標(SDGs)

参考資料

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包 **摂性のある社会**の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。(その下に、169のターゲット、 232の指標が決められている。)

(①貧困) (②飢餓) (③保健) (4)教育) (⑤ジェンダー) (⑥水·衛生) 3 すべての人に 健康と福祉を 普遍性 先進国を含め、全ての国が行動 \bigcirc • 人間の安全保障の理念を反映し 包摂性 「誰一人取り残さない」 ((ゾEビー・ハト@) (⑦エネルギー) (8成長·雇用) (⑩不平等) (⑪都市) (12)生産·消費) 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう 12 つくる責任 つかう責任 全てのステークホルダーが役割を 参画型 **O** (13気候変動) (個海洋資源) (15)陸上資源) (16平和) (⑪実施手段) 統合性 社会・経済・環境に統合的に取り組む 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 13 気候変動に 具体的な対策を 15 陸の豊かさも 8 透明性 定期的にフォローアップ

前身:ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)

- ▶ 2001年に国連で専門家間の議論を経て策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、 1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- ▶ 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。 (①貧困・飢餓、②初等教育、③女性、④乳幼児、⑤妊産婦、⑥疾病、⑦環境、⑧連帯)
 - MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
 - 極度の貧困半減(目標①)やHIV・マラリア対策(同⑥)等を達成。
 - × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減(同④、⑤)は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。

環境

(JJ + 20)

人権

平和